

## 京都府立医科大学大学院医学研究科ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

### <博士課程>

博士課程では、「総合コース」及び「がんプロフェッショナル養成専門コース」を設け、両コースともに、4年以上在学（優れた研究業績を上げた者は、3年以上在学）し、必要な単位 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とする。

課程修了にあたっては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、高度で先進的な医療を推進する医師又は先端的な医学研究を展開しうる医学研究者として、以下の見識と能力を有していることを目標とする。

- 1 医学・医療・生命科学研究に必要な高邁な倫理観を修得している。
- 2 自立した研究者、医療人として、最先端の医学・医療・生命科学研究を自ら推進し、また後進を育成し指導できる知識と技能を身につけている。
- 3 医学・医療・生命科学の研究成果を応用し実践して地域社会と世界に貢献することができる。

### <修士課程>

修士課程では、2年以上（優れた研究業績を上げた者は、1年以上）在学し、必要な単位 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とする。

課程修了にあたっては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、学際的展開を図りうる医学研究者又は地域の保健医療に貢献する高度な専門職業人として、以下の見識と能力を有していることを目標とする。

- 1 医学・生命科学研究に必要な高邁な倫理観を修得している。
- 2 最先端の医学知識を有し、これを駆使した医学と生命科学研究を行う知識と技能を身につけている。
- 3 医学・生命科学の研究成果を活用して社会に貢献する視野と能力を有している。